

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 4 月 30 日 (2009.4.30)

【公開番号】特開 2007-334464 (P2007-334464A)

【公開日】平成 19 年 12 月 27 日 (2007.12.27)

【年通号数】公開・登録公報 2007-050

【出願番号】特願 2006-163015 (P2006-163015)

【国際特許分類】

G 0 6 F 5/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 5/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 3 月 11 日 (2009.3.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定のデータテーブルに格納されている複数のデータに基づいて、所定のデータ保持構造により該複数のデータを保持するデータを生成するデータ生成装置であって、

前記所定のデータテーブルに格納されている複数のデータを取得するデータ生成用データ取得部と、

前記データ生成用データ取得部にて取得された複数のデータそれぞれの前記所定のデータテーブルにおけるデータ格納位置と前記データのデータ保持構造におけるデータ保持位置との対応関係を規定した対応関係情報を取得する対応関係情報取得部と、

前記対応関係情報取得部にて取得された対応関係情報に基づいて、前記データ生成用データ取得部にて取得された複数のデータそれぞれを該データの取得元である前記データ格納位置に対応するデータ保持位置に設定し、データを生成するデータ生成部とを有することを特徴とするデータ生成装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のデータ生成装置において、

前記データ生成部にて生成されたデータを所定の送信先に対して送信する送信部を有し、

前記対応関係情報取得部は、前記所定の送信先に応じて予め設定されている対応関係情報を取得することを特徴とするデータ生成装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載のデータ生成装置において、

前記データ生成用データ取得部は、前記所定のデータ保持構造における各データ保持位置を識別するための識別情報をデータとして取得することを特徴とするデータ生成装置。

【請求項 4】

請求項 3 に記載のデータ生成装置において、

前記所定のデータ保持構造はツリー構造であり、

前記データ生成部は、該ツリー構造における任意のデータ保持位置にて保持される識別情報に、該任意のデータ保持位置の上流に位置するデータ保持位置に設定される識別情報を含ませて設定することを特徴とするデータ生成装置。

【請求項 5】

所定のデータ保持構造により複数のデータを保持するデータに基づいて、該複数のデータを所定のデータテーブルに格納させるデータ格納装置であって、

前記データに保持されている複数のデータを取得するテーブル格納用データ取得部と、

前記テーブル格納用データ取得部にて取得された複数のデータそれぞれの前記データのデータ保持構造におけるデータ保持位置と前記所定のデータテーブルにおけるデータ格納位置との対応関係を規定した対応関係情報を取得する対応関係情報取得部と、

前記対応関係情報取得部にて取得された対応関係情報に基づいて、前記テーブル格納用データ取得部にて取得された複数のデータそれぞれを該データの取得元である前記データ保持位置に対応する前記データ格納位置に格納させるデータ格納部と

を有することを特徴とするデータ格納装置。